

## 陳情第8—7号

中東情勢に伴う建設資材不足と価格高騰により大きな影響を受けている、国分寺市内に在住、または事業所等を置く、建設業の中小事業者、個人事業者に対する支援として、国分寺市独自の補助金制度の創設を求める陳情

受理年月日 令和8年6月17日

### 陳情の要旨

中東情勢の悪化を背景に、原油・ナフサを原料とする建設資材や関連資材において急激な価格高騰と供給不安が広がっています。断熱材、防水材、塗料、シンナー、塩ビ製品、屋根材など多くの資材で、価格改定や受注制限、納期調整、生産停止などが相次いで通知され、現場の仲間からは「見積もりができない」「契約済み工事でも採算が崩れる」「材料が入らず工期が読めない」といった深刻な声が広がっています。多くの組合員からコロナ禍よりも深刻だとして、「コロナの時は感染対策を取り工事継続できたが、今は物理的に資材が入らず継続できない」と悲鳴に近い訴えもされています。今回の事態は、住宅修繕や改修を望む市民生活にも大きな影響を及ぼします。

このような状況のなかで、近隣の自治体では、事業者支援制度を創設しました。

つきましては、地元事業者の仕事と暮らしを守り、地域経済の維持・活性化のためにも、国分寺市内に在住、または事業所等を置く、建設業の中小事業者や個人事業者などを支援するために国分寺市独自の補助金制度を創設してください。

## 陳情事項

中東情勢に伴う建設資材不足と価格高騰により大きな影響を受けている、国分寺市内に在住、または事業所等を置く、建設業の中小事業者、個人事業者に対する支援として、国分寺市独自の補助金制度を創設すること。